



キク編

病害虫注意報 2021年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

立枯病 ---予防と対策---

高温に伴い、立枯れ症状が増加します！

〈対策例〉①適正な水管理を行う ②遮光剤等による高温対策
③活着促進資材を使用 ④予防薬剤を使用する

萎れ症状等で根傷みの兆候がある場合は早急に酸素剤の使用など、根の回復に努めましょう！

登録内容	薬剤名	希釈倍率・使用量	処理方法
立枯病など※	リゾレックス水和剤	500～1000倍 3L/m ²	土壌灌注(生育期/5回)
立枯病※ (リゾグリア菌)	ユニフォーム粒剤 (リゾミル成分+アミスター成分)	18kg/10a	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
発根促進	タチガレン液剤	1,000倍 5～10L/m ²	土壌灌注(挿し芽直後/1回)

※花き類・観葉植物登録

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・倍率	使用時期	回数
定植時	白さび病	inochio キクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	予 ジマンダイセフロアブル	500～800倍	-	8回
	アザミマ類・アザラム類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	白さび病	予・治 inochio オペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	ハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	開花前まで	1回
発蕾時	うどんこ病・黒斑病 灰色かび病・アザミマ類 ハダニ類・白さび病	予・治 ポリオキシシAL水溶剤	2,500倍	発病初期	8回
	アザミマ類・ハダニ類※ オオハダニ※・ヨウムシ類※	アフーム乳剤	1,000倍 (アザミマ類1,000～2,000倍)	発生初期	5回
破蕾時	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル※	1,000倍	発生初期	2回

※花き類・観葉植物登録

弱った株の回復に！

カテキンパワー

1,000倍 葉面散布

※ストレプトマイシン剤、キチン、キトサン類、カルシウム剤(ファイトカルを除く)、微量元素剤、鉄など金属を含む葉面散布肥料との混用は避ける。井戸水で、鉄分などを多く含む水での使用も避ける。

肥料登録 生第91402号



灌注処理にプラス1！

ファイトオーツ

1,000倍 灌注処理

同時灌注で効果アップ☆

- ▶ 暑さによる根痛み防止
- ▶ 毛細根の充実
- ▶ 徒長防止

肥料登録 生第83241号



高温対策に！ 効果は約1か月

すすみどり

香り成分で、葉焼けや萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上

ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10～20錠

